

Eagle Eye Cloud VMS を導入したドミノピザ店舗



米国アーカンソン州に22店舗を展開するドミノピザのフランチャイズ・オーナーは、アナログ型映像監視カメラ・システムを使用していました。同オーナーによると、このアナログ型映像監視カメラ・システム使用時、事件発生時の録画映像を抽出するまでに早くても数日間、時には数週間かかっていた。

それに対して、Eagle Eye Cloud VMSを導入してからは、既存のアナログ・カメラを継続使用、複数店舗の映像も一括管理できるプラットフォームと、いつでも設定変更可能なクラウド・ストレージを利用できるようになりました。今回導入したイーグルアイ社製クラウド型映像監視システムでは、既存のアナログ・カメラを継続して使用できたことに加えて、店舗ごとに1台ずつ新しいIPネットワーク・カメラを追加しました。

Eagle Eye Cloud VMSを導入したことで、イベント発生時にスタッフ内で履歴やライブ映像を確認でき、特定時間に特定のカメラで、特定の人物情報を共有し、簡単にインシデントの録画映像を取得するようになりました。当初フランチャイズ・オーナーは、1店舗だけで導入しEagle Eye Cloud VMSを2ヶ月間使用した後に、その優れた高性能に満足して22店舗全てに導入を決定しました。



【導入の詳細】

■導入製品

●Eagle Eye Bridge

Eagle Eye Bridgeは、オンサイト環境に設置して映像データをバッファする機能を持ち、映像データを送信可能な帯域を確保すると、Eagle Eye Cloudにデータを送信します。カメラから転送された映像は、動体検知と暗号化処理が行われ、ローカル・ハードディスクに保存されます。そして、帯域幅、ユーザ定義、スケジュールなど様々な設定に基づいて、クラウドにデータが送られます。イーグルアイネットワークスは、6台から32台まカメラをサポートするBridge製品群を提供しています。

●Compact IP CMVR Eagle Eye CMVR224

Eagle Eye CMVRには、オンプレミスとクラウドの両方に記録領域があります。ユーザは、カメラ毎に保存先を任意に組み合わせることが可能です。Bridgeと同様に、Eagle Eye CMVRは自動的にカメラとシステム・ステータス情報をEagle Eye Cloudに送信します。CMVRは、全録画の記録をクラウドへ送信するために十分な帯域を確保できない場合、またはオンプレミスの記録領域にポリシーや規制がある場合に利用されます。イーグルアイネットワークスでは、6台から180台のカメラをサポートするCMVR製品群を提供しています。



●Combo IP/Analog Bridge Eagle Eye Bridge 310

ラックマウント型に設計されたBridgeで、アナログ・カメラとIPカメラをサポートしています。アナログカメラはBridgeに直接接続するため、外部エンコーダは不要です。このBridgeはアナログからIPへ移行するユーザに最適で、必要に応じてカメラを選択することができます。



■設置店舗数・当初1店舗に導入し、その後全22店舗に導入

■カメラの種類と台数・アナログ・カメラとIPカメラ5台/1店舗、全店舗で110台

■画像データ保存期間・30日間

お問い合わせ



イーグルアイネットワークス株式会社

TEL: 03-6868-5527(代表)

Email: APACsales@een.com

<https://www.een.com/ja/>